

備前市事務事業評価表

事務事業名	歴史民俗資料館管理運営事業		コード	担当課	生涯学習課歴史民俗資料館
			03-03-01-02	担当者	吉延修二
事業実施期間			電話	64-4428	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	歴史と文化の輝くまちづくり			
	小項目	文化芸術の振興			
	施策	文化施設の適正な管理運営			

事業について		
目的	郷土に関する資料の収集・調査・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解や文化財への認識を高め、歴史・文化や文化財を郷土の財産として後世に伝える。	
対象（誰のために）	備前市の歴史・文化などに興味のある人すべて。	
内容	常設展示による備前市の歴史文化の紹介及びテーマを決めて、企画展の開催。資料調査員による情報提供・調査	

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など	回数など	回数など
開館日数	296 日		
年間入館者人数	1,853 名		
企画展の開催回数	2 回		
企画展の入館者数	359 名		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	4,106	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	12,680	受益者負担		人件費		受益者負担	
			市債				市債	
合計	16,786	一般財源等	16,786	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	3.15	人		
結果指標名	年間入館者人数			
結果指標量	1,853			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	16,786,000	円		
単位当たりコスト①	9,059	円		
結果指標名	企画展入館者数			
結果指標量	746			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	1,870,000	円		
単位当たりコスト②	2,506	円		

事業の成果			
成果指標名	年間入館者人数	式又は説明	年間を通した入館者数
	17年度		
成果指標量	1,853		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	2,000	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用して <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	
コメント	館管理運営事業は、郷土の歴史や文化に誇りを持ち、幅広い年代の人の学習に役立つよう、展示内容の充実と、より多くの人への広報活動を徹底させる必要がある。
評価区分	<A~E> <b>B</b>

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	2,000	結果指標量②	
目標値	結果指標量	2,000	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	常設展示を充実させたり、展示替を行う。ホームページや広報活動を拡充させる。	平成19年度	より多くの人に事業内容を伝達でき、学習意欲を持つ人の幅が広がり、入館者が増える。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。